

修学旅行新聞

発行所 財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人 白海木紀
東京都千代田区西千代田
2丁目8番7号(電話) 2426・2932
2426・2932
電話 36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究し、常にその改善に努力し、教育効果の充実に努める事は必要であり教育界に課せられた義務である。
(財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から)

財団法人・全国修学旅行研究協会

第18回通常総会開く



早春の熱海で開かれた全修協の第18回通常総会

一万名必達を誓う

修学旅行 教育効果の向上めざす

財団法人・全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)の第十八回通常総会は、月十八、九日、熱海市の新熱海ホテルで開催された。春の訪れ、異常寒波と雪害で交通事情が悪化しているなか、多くの来賓をはじめ、全国各地から支店長や支店員、代表者約百五十名が参加し、一日間にわたって案件の審議をおこない、本年度の事業計画などを満場一致で決定した。修学旅行は、その教育効果を高めるための積極的な方策を打ち出し、また研修旅行については参加者一万名達成に全組織が一丸となってこれに当たることを誓い合ったことがこの総会の大きな収穫であった。

はなれ、同十月をもって常勤を辞した白海木紀常務理事に代り、山本理事長が十三年度にわたる同氏の芳名に感謝状と記念品をおくられた。

さらに昨年度、新しく支店長に就任した楠崎貞治(秋田) 太平洋電(岐阜) 漆原(香川) 藤崎(佐賀)の諸氏に辞令が渡され、それぞれ紹介があった。

第43回理事会開く

至修協の第四十三回理事会は、三月十七日午後二時三十分から、新熱海ホテルで開催、総会では修学旅行の指導改善と研修旅行の一万名達成を目標とする事業計画の審議が行われた。

また、協会創立三十周年の事業である研修旅行は全修協独自の補助金交付などの助成措置は全修協の指導改善と研修旅行にのみ限られ、その他の助成措置は各支店独自の事業として行われることになった。

強固な運動展開へ

財団法人・全国修学旅行研究協会

理事長 山本種一

立憲をきくといえ、例年になく寒い冬のなかを来賓のみなさまには多大の不便をおかけするが、この総会に出席いただき、かつ充実した総会となりましたことを喜ぶとともに心から深く感謝いたします。

お陰で全修協は、十年の歴史と年輪を重ね、その運動は逐年発展の一途をたどり、その実績と成果は広く教育界にもとりわけ、社会から高く評価されてまいり、教育界に不動の地位を築くことができました。

修学旅行については関東、東北、近畿地区公立学校の現場教員による研究団体を組織し、全



影響と実力を持つ団体による運動展開が、この総会でも大きな課題となっていました。昨年、全修協創立二十周年を記念し、全国から集った修学旅行の教育論文・作文は総数千五百点を越え、すでに審査を終え、本日この総会で発表することになりました。それらの作品は教育図書として発行すべく

が、これらに活用されたい。春は、もう近いのだ」と力強い開会辞のなかで、最後に明賀盛弘(京都)の発声で全修協の発展を祈る万歳を三回十時一十分間行われ、第十八回通常総会の幕を閉じた。

「冬来りなす春遠からじ」居すれど続けた異常寒波も、いつか遠のき、陽がさし日差し大地をぬくめるころ、このころである。だが入学試験という門に頭を悩め、つらさを感じ、高き生たちにとって、春はまだ遠いことである。入試の季節になると、この制度が日本の青少年の将来にどのような意味をもつのか、その功罪を改めて考えさせられる。二月二十三日のNHKは「十五の春・高校受験の日」と題し、離れ、ラ・サール高校志望の受験生、生徒五十人の少年像を映し出した。その中、十五人が離れ入学した。その中、十五人が離れ入学した。その中、十五人が離れ入学した。

われわれは公認人・全修協の使命達成のために本協会に生命である同様の結合を要する。このようないい「通せんぼ」突破のためのテスト訓練に、貴重な民族エネルギーである優秀な少年たちの精進を促すことは、大きな問題をおかしてはいないだろうか。全修協の修学旅行作文で、多くの中学生たちは「修学旅行は終わった。明るいよ。びと友達と深めた友情は忘れられない。これからは暗い入試の壁とトンネルが待っているだけだ」とかいてあった。入試が必要悪で学校を暗くし、修学旅行はそれを救う少年たちの心の灯だ。だから春の修学旅行は、修学旅行の春遠からじといふことだ。だから、深く考えさせられるのだ。

風紋

「冬来りなす春遠からじ」居すれど続けた異常寒波も、いつか遠のき、陽がさし日差し大地をぬくめるころ、このころである。だが入学試験という門に頭を悩め、つらさを感じ、高き生たちにとって、春はまだ遠いことである。入試の季節になると、この制度が日本の青少年の将来にどのような意味をもつのか、その功罪を改めて考えさせられる。二月二十三日のNHKは「十五の春・高校受験の日」と題し、離れ、ラ・サール高校志望の受験生、生徒五十人の少年像を映し出した。その中、十五人が離れ入学した。その中、十五人が離れ入学した。その中、十五人が離れ入学した。

充実した修学旅行



ツーリストをお役立てください
ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として「修学旅行映画」シリーズを製作しております。

●修学旅行映画シリーズ

京都の庭園 富士箱根 日光 大和の国なか
大和の塔 火とみどりの国 瀬戸内海
みちのく 大和の道 大和の石 京都の川
(いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25〜40分です)



近畿日本ツーリスト

思い出の修学旅行 印象的な、瀬戸内海の船旅



- 阪 神一別府航路(毎日3便)
- 阪 神一小豆島・高松航路(毎日2便)
- 東神戸一日向(宮崎)フェリー(隔日1便)

関西汽船

お問合せは 大阪市港区弁天6-7-15 (06)574-9161
東京都中央区八重洲1-9-9 (03)274-4271
ほか関西汽船・関汽交通各営業所・旅行あつて案内所

